

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	048 -	事業名	社会教育団体補助事業			担当部課	くらし文化部生涯学習課			
基本情報	第5次総合計画・基本方針	✓ 文化をみがき、人が輝くまち				会計区分	一般会計			
	まちづくり行程表・フラッグ	—					予算区分(款 - 項 - 目)			
	第6次総合計画・基本目標	—				9-4-1 社会教育総務費				
	法定受託事務の有無	—								
	その他(関係計画、要綱等)	✓ 長久手市社会教育関係団体補助金交付要綱								
事業開始の背景、経緯等		昭和57年度以前～								
事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 社会教育団体の社会教育に関する事業、研究、大会の参加及び交流事業に要する経費に対し、要綱に基づいて交付する。								
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内の社会教育関係団体								
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民団体の活発な活動を促進する。								
	事業を構成する事務事業(B票)	① 文化補助事業	改善・見直し	④						
	②			⑤						
	③			⑥						
コスト推移	項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)		
	事業費(A)	千円	予算	1,765	1,765	1,800	1,800	1,800		
			決算	1,765	1,765	1,800	1,800			
	人件費(B)	千円	決算	2,674	1,986	1,853	2,566			
総コスト(A)+(B)		千円	決算	4,439	3,751	3,653	4,366			
成果推移	成果指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)		
	A 補助団体の会員数(総数)	人	目標	5,400	5,500	5,600	5,600	5,800		
			実績	5,354	5,402	5,571	5,746			
	B		目標							
	C		目標							
				実績						
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)										
A 前年度実績を上回るように目標設定する。										
B										
C										
環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化 (他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣市町もほぼ同様に実施。									
評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 会員数は増加傾向にあり、平成30年度は目標値を上回った。								
	過去5年間の振り返り	(過去5年間の事業の進捗状況、改善状況などの振り返り) 補助金により、それぞれの団体の活動を支援し、会員数は増加傾向にある。								
	事務事業全体を見た課題	団体活動の発展に寄与するように補助金を交付しているが、各団体による自己資金・自主財源等の確保にも努めてほしいと考える。								
今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 各団体の会員数を増加させ、活動を促進する。								
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 各団体の会員数を増加させ、活動を促進する。また、自主財源等の確保を促進する。								

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	
------	-------------------------	--

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	社会教育団体補助事業		担当部課	くらし文化部生涯学習課	決算書ページ	—
事務事業名	①	文化補助事業		予算区分	9-4-1 社会教育総務費	
事務事業の期間	事務事業開始年度	昭和57年度(1982年度)以前		終了(予定)年度	—	

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市内で活動している社会教育関係団体に対して、補助金を交付することで、社会教育事業の自主的な運営を支援する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 各団体の活動人数を増やし、活発な活動を促進する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
事業費	千円	予算	1,765	1,765	1,800	1,800	1,800
		決算	1,765	1,765	1,800	1,800	1,800
<備考：事業費の主な内訳(30年度(2018))>							
(1) 小中学校PTA連絡協議会補助金						850 千円	
(2) 文化協会補助金						700 千円	
(3) 郷土史研究会補助金						200 千円	

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
補助団体の会員数	人	見込	5,400	5,500	5,600	5,600	5,800
		実績	5,354	5,402	5,571	5,746	
		見込					
		実績					
<備考：活動の概要(30年度(2018))> 社会教育団体が社会教育のために行う事業に要する経費に対し、予算の範囲内において交付する。 長久手市文化協会700千円、長久手市小中学校PTA連絡協議会850千円、日本ボーイスカウト愛知連盟長久手第1団50千円、長久手市郷土史研究会200千円							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

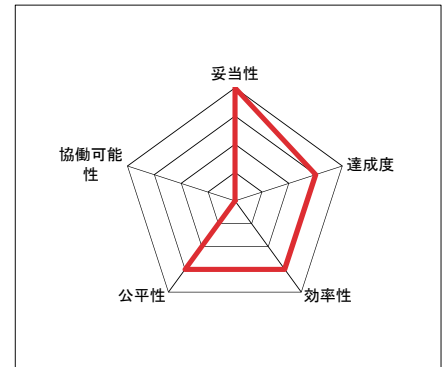
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣市町もほぼ同様に実施。

5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況
(前年度【予算額】) (今年度【予算額】) (増減額)
1,800 千円 1,800 千円 0 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》
・前年度【今後の方向性】 現状維持
・前年度【コメント】
団体の活発な活動を促進するため、ヒアリングを行う。今後も継続して、会員数増加を目指す。
(3) 改善状況
(何をどのような状態に改善したのか)
補助金の申請時、交付時にヒアリングする他、会員の応募等がある時には、速やかに団体へ案内するなど、会員数の増加促進に寄与する。

6. 評価

項目	評価
妥当性	4
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	—



【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数(人)				
区分	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
見込	—	—	—	—
実績	—	—	—	—
(2) 協働の状況(30年度(2018))				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				
市民協働する事業でないため、評価できない。				

【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)
補助金の申請時にヒアリングする他、会員の応募等がある時には、速やかに団体へ案内している。

【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など)
各団体が自己資金、自主財源等の確保できるように促す。

7. 今後の方向性

改善・見直し